

これからの社会の“文化的”施設のあり方

～ 建築の形式が作りだす活動について～

東海大学工学部建築学科

野口直人

これまでのWSを通じて浮かび上がった
公共施設に対するキーワード

アクセスの良さ → 駅からの距離だけの話??

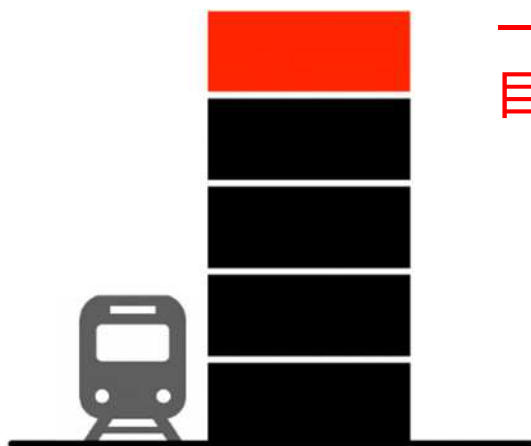
活動の視認性 → ガラスにすればいいだけの話??

施設同士の融合 → 合理性だけの話??



建築の形式・周辺環境との関係が重要

たとえば「アクセスの良さ」とは？



一見、利便性は高く見えるが、
目的がある人しか訪れない。

一見、不便に見えるが、気づきやすく、
まちでの日常生活の延長として利用できる。

視認性が高まる
周辺環境との連続
まちの面的な活性化
(渋谷の東急Bunkamura、代々木公園etc)

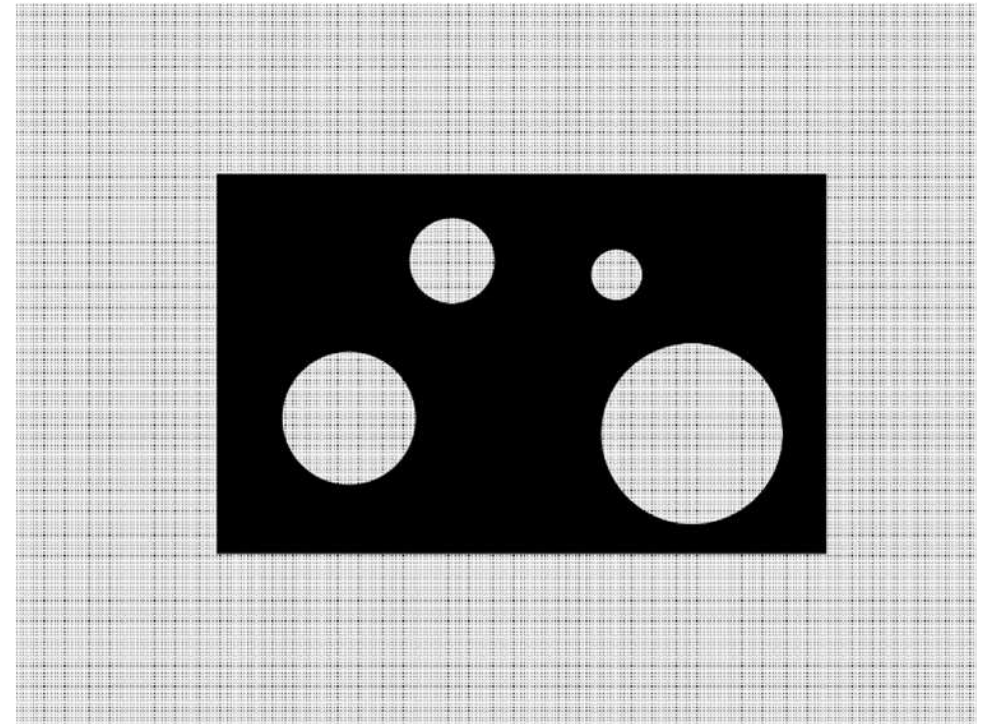


建築の形式や周辺環境との関係が人々の活動を豊かなものにする

* 建築を「単なる箱」「異物」「記号」ととらえず、
公園のような一種の環境としてとらえることが重要

ロレックス・ラーニングセンター (図書館、食堂、学習室、会議室、ホールetc)

場所：スイス・ローザンヌ
設計：SANAA (妹島和世 + 西沢立衛)



アクセスの良さ
活動の視認性
施設同士の融合

→

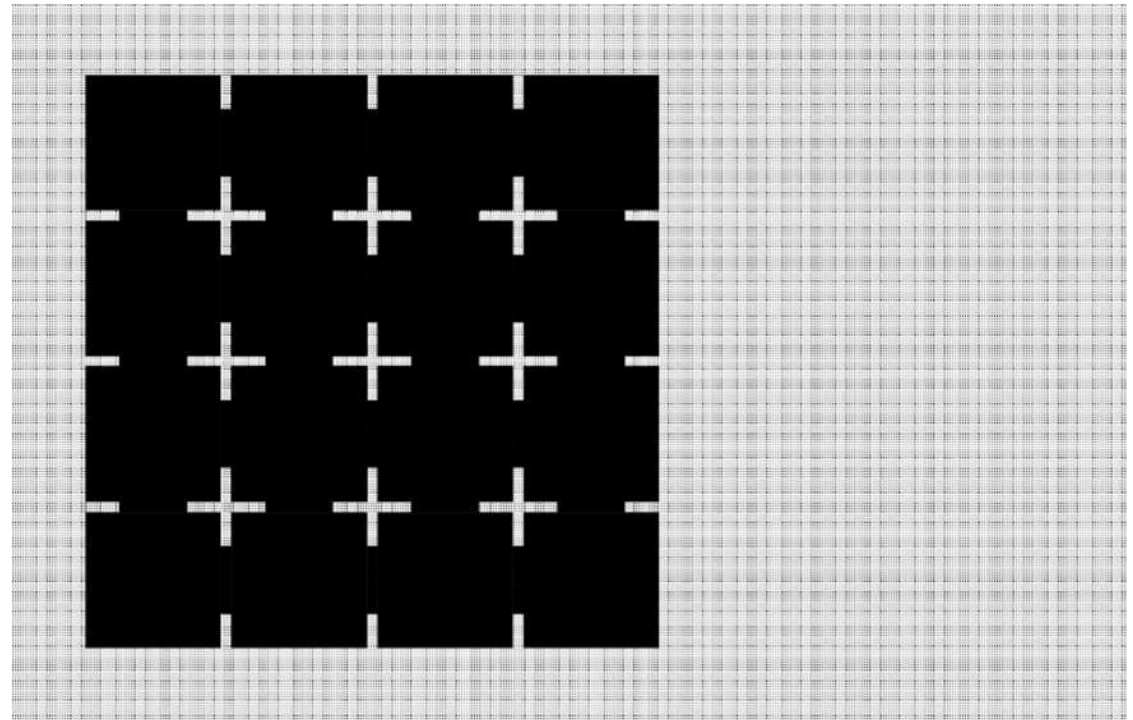
平屋一階建で、壁ではなく、
起伏と中庭によって機能を分けることで、
各機能が穏やかにつながり、
お互いの活動がよく見えて、
学生だけでなく、目的がなくても過ごせる、
まるで公園のような建築

武蔵野プレイス

(図書館、生涯学習支援、
青少年活動支援、市民活動支援)

場所：東京都武蔵野市

設計：kwhgアーキテクト



アクセスの良さ
活動の視認性
施設同士の融合



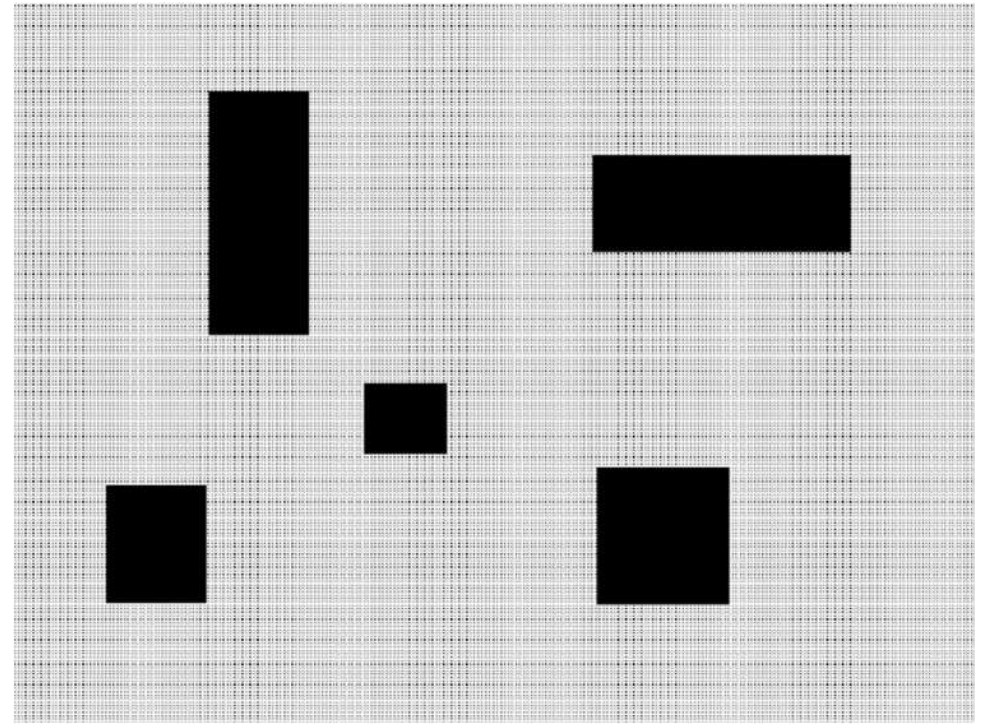
地上4階地下2階、
丸みを帯びた小さなルームの集合体で、
居間のように気軽に過ごせ、
お互いのルームが穏やかにつながり、
隣の活動に興味を抱く、
まるで家の延長のような建築

イピラプエラ公園

(体育館、劇場、展示場、博物館、庭園、
ジョギングコースetc)

場所：ブラジル・サンパウロ

設計：オスカー・ニーマイヤー



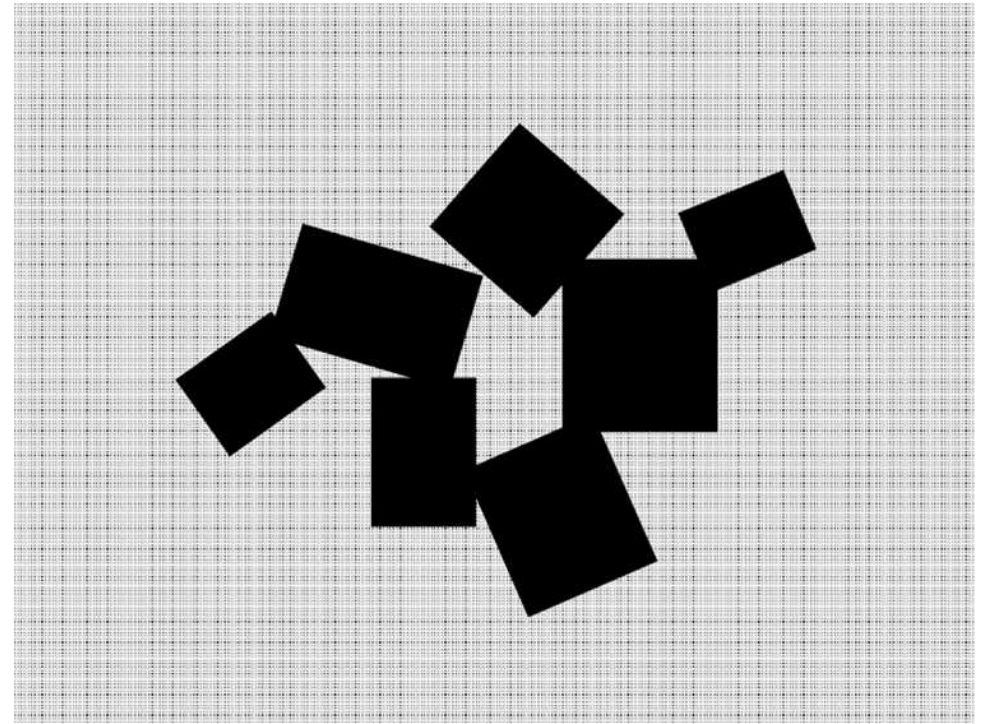
アクセスの良さ
活動の視認性
施設同士の融合



公園の中に各施設が点在し、
それらを大きく開放的な屋根がつないで、
散歩するように気軽に巡ることができ、
公園と施設での活動が一体となる、
まるで公園の一部のような建築

JUNKO FUKUTAKE ホール (多目的ホール)

場所：岡山県岡山市
設計：SANAA



アクセスの良さ
活動の視認性
施設同士の融合



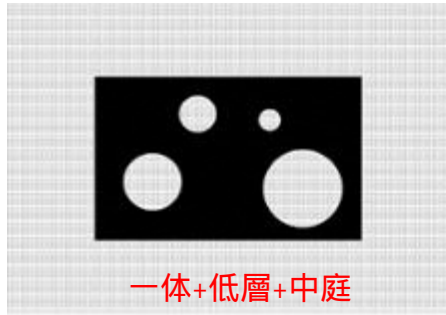
小さな空間が集合して全体を構成して、
圧迫感を感じさせず、
中と外が混ざり合って連続し、
中の活動が周囲から視認され、
ひろがりが見られる建築

大学キャンパス

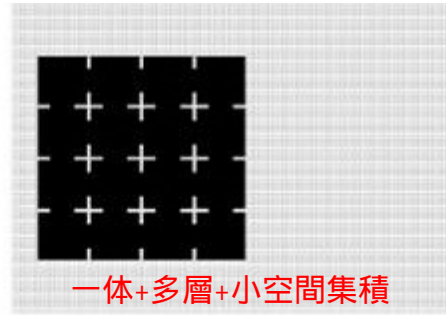
日本庭園

etc

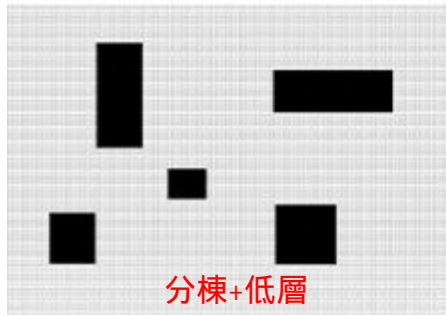
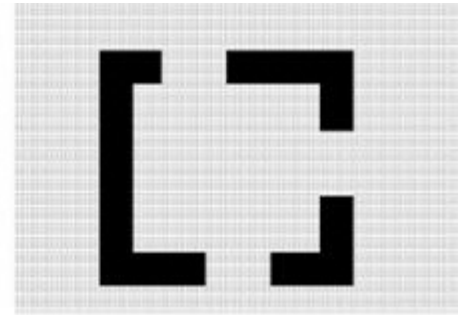
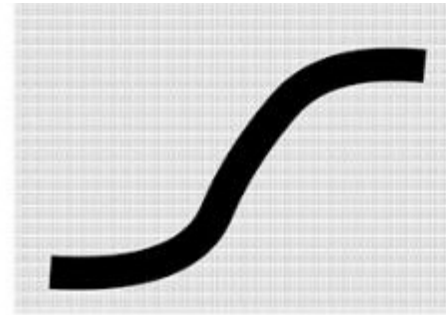
* 用途の事例だけを考えるのではなく、
現実に行き起きている様々な状況を参考事例として、
建築と公園の可能性をひろげることが、
これからの新しい公共空間を生み出す。



一体+低層+中庭



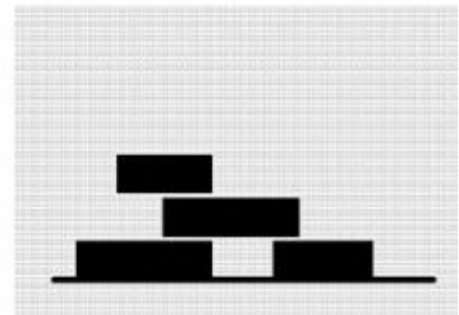
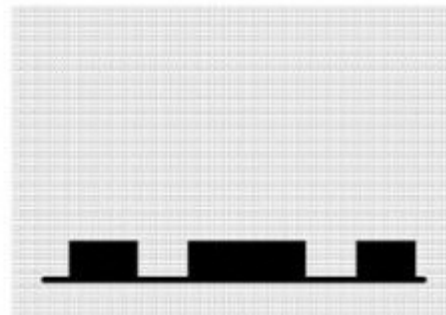
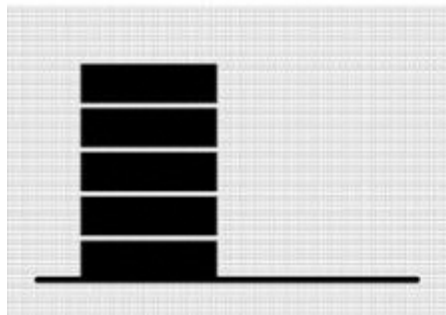
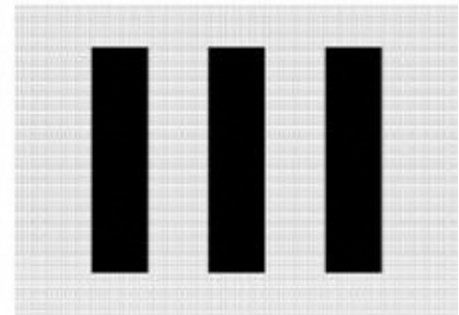
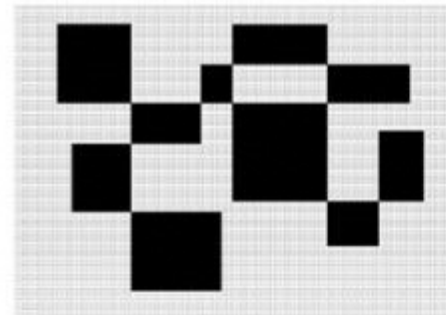
一体+多層+小空間集積



分棟+低層



市松+低層+小空間集積



建築の形式や周辺環境との関係によって、
何が起きるのか、何が可能になるのか、次の世代をどう豊かにするのか、
を想像することが重要

参考URL

ロレックス・ラーニングセンター（動画 youtubeより）
<https://www.youtube.com/watch?v=Dv6dya2iwtY>

武蔵野プレイス（日本建築学会HPより）
https://www.aij.or.jp/jpn/design/2016/data/2_2award_musashino_place.pdf

イビラプエラ公園（ブログより）
<https://ohmy.s8d.jp/2019/05/11/parquedoibirapuera/>

JUNKO FUKUTAKE ホール
<http://j-hall.med.okayama-u.ac.jp>